「二ひきのかえる」　新美南吉 作

※止まったマスに文字が書いてあったらそれを読んでください※

スタート
緑のかえると黄色のかえるが
はたけのまんなかでばったりゆきあいました

1

2

3
緑のかえる
「やぁ、きみは黄色だね。きたない色だ。」

4

5
黄色のかえる
「きみは緑だね。
　きみはじぶんを美しいとおもっているのかね。」

6
こんなふうに話しあっていると、
よいことは起こりません。

7

8

9
二ひきのかえるはとうとう
けんかをはじめました。
けんかをはじめたので１回休み

10

11

12
緑のかえるは
とびかかるのが得意でありました。
大ジャンプで３マス進む

13

14
黄色のかえるはあとあしで
砂をけとばしました。
相手の足止めに成功で１マス進む

15

16

17
するとそのとき、寒い風がふいてきました。
二ひきのかえるは、もうすぐ冬のやってくることをおもいだしました。かえるたちは土の中にもぐって寒い冬をこさねばならないのです。
冬眠じゅんびのため１回休み

18

19

20

21
緑のかえる
「春になったら、このけんかの勝負をつける。」
土の中にもぐるので１マス戻る

22

23

24
黄色のかえる
「いまいったことをわすれるな。」
土の中にもぐりこむので１マス戻る

25

参照
青空文庫：http://www.aozora.gr.jp/
底本：「ごんぎつね　新美南吉童話作品集１」てのり文庫、大日本図書
　　1988（昭和63）年７月８日第１刷発行
底本の親本：「校定　新美南吉全集」大日本図書
入力：めいこ　　校正：鈴木厚司、もりみつじゅんじ